

第七十四回

瀬戸市文芸発表会

川柳部門 特選・入選作品

【なかはら　れいこ　先生選】

『一般の部 特選』

卵白の代わりに雲を泡立てる
コーヒーにミルク夜景が立ちあがる
ゴメンネが絡むいがらっぽい二人

『一般の部 入選』

雨音をBGMに読書する
ベビーカー我が世の春の寝顔乗る
ホバリング瞬間移動秋あかね
夜空見て心のシャッター切りまくり
お袋の漬物石という文化
地下出口羽ばたけそうな青い空
幸せと辛いが今日も遊んでる
グロテスクシーン流れるギャグマンガ
おじさんの心は短パン穿いている
カタツムリ雨の滴で若返る
もう駄目とワツと泣き出す夏の空
恒久の平和のたつた80年
切り取り線溢れ更新する猛暑

瀬戸市五位塚町
瀬戸市上品野町
愛知県半田市

青砥　和子
安藤　なみ
猫田　千恵子

長野県中野市
愛知県春日井市
愛知県犬山市
愛知県犬山市
滋賀県長浜市
名古屋市名東区
名古屋市中川区
兵庫県伊丹市
東京都三鷹市
瀬戸市八幡台
滋賀県大津市
神奈川県川崎市
三重県津市

安藤　一明
飯田　歩未
市川　博
市川　康代
一刀両断
井上　聖子
位田　仁美
噂野アンドウ
械冬　弱虫
河村　けい瑚
しなやかーる
下村　修
竹尾　佳代子

影持參男日傘で運ぶ道

逢えぬ日は色が濃くなる壁の滲み
蟲といふ文字が夜更けに疼きだす
見上げたら見下ろしてるツバメの子
編みかけか葉開くか子の寝息

『小中学生の部 特選』

備蓄米古古古米とか意味不明
上向くと空を飛んでたおばあちゃん
僕ヒマズ夏休みは暇暇ヒマズ

『一般の部 入選』

古い米名前適當古古古米
人生は自分らだけの物語
ほっぺたがめっちや赤すぎまじトマト
金曜日おばあちゃんちで猫と寝る
ぶつかって謝罪をしたよマネキンに
早起きも続けば慣れる夏の朝
夏の海ついつい拾う貝がらを
夕方のスマホかざした夏のそら
蝉の声近くで鳴くなビビるから
脳味噌が灼ければそれはもう夏だ

名古屋市北区

京都府京都市

千葉県我孫子市

瀬戸市原山台

山梨県中央市

羽馬愚朗

福村 まこと

もふもふ

吉田さをり

ルーキー

幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年

齊藤 實莉
長江 純奈
モハメド ヒマズ

幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年

綾部 澄華
飯嶋 陸仁
磯部 健成
磯村 なつみ

幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年

市川 愛望
市村 優成
伊藤 愛
井上 真奈央

幡山中学校二年
幡山中学校二年
幡山中学校二年
名古屋市立本郷小学五年

大木 彩香理
おおとろろ先生

地球人宇宙から見たら宇宙人

目が覚めたまどをあけ雨と見つめ合う

カラコロと氷のすずしい音がする

夏がきた虫がみんなを呼んでいる

妹とせつけん取り合い泡が散る

「またあした」日の落ちる時想いだす

ピンクから緑にかわったさくらの木

怒る母現実逃避してみたい

犬の手は大福みたいにやわらかい

夕方に追いかけてくる黒い影

しごうききみのこころにあかはない

幡山中学校一年

奥村

尾崎

梶原

加藤

小島

竹島

土田

福岡

安山

山田

真鍋

龍空

風人

心優

千殊

光颯

胡桃

璃音

宗太朗

夢依

紗矢

なかはら　れいこ

『小中学生の部』

備蓄米古古米とか意味不明

『一般の部』
卵白の代わりに雲を泡立てる
ふわふわに泡立てた卵白は雲に似ている。と思うのが普通
だけど、それが逆転しているところがいい。真っ白い雲に
両手を突っ込んでかき回したくなる、そんな気持ちが伝わ
つてくる。

コーヒーにミルク夜景が立ちあがる
コーヒーカップの中を覗く。夜のような黒の中にミルクの
白が流れ込む。それを夜景と言われた瞬間、月光に照らさ
れて白く輝く雲の様子があたまに浮かぶ。下界を俯瞰して
いるかのような全能感がある一句。

ゴメンネが絡むいがらっぽい二人

実態のない「ゴメンネ」が喉に絡むという、あり得ないこ
とが書かれているのに、体感としてとてもリアルなのは、
みんな同じような体験をしているから。「いがらっぽい二
人」という修辞が秀逸。

上向くと空を飛んでたおばあちゃん
ＮＨＫの「みんなのうた」に「コンピューターおばあちゃん」というのがありました。そんなぶつとんでおばあちゃんと読んでもおもしろいけど。もし違っていたらものすごく非礼なことだと、覚悟しつつ。このおばあちゃんはもう空にいるのではないかと思いました。大好きなおばあちゃんへの愛にあふれた句だと思えてなりません。

僕ヒマズ夏休みは暇暇ヒマズ
文句なしにおもしろい。暇しか言つてない。しかも「暇」
が「ヒマズ」って複数形になつてるし。韻を踏んでるとこ
ろも、リズムの良さもラップみたいで、いまどき感があつ
て、すごくいいと思います。

【宮内 多美子 先生選】

『一般の部 特選』

雨を聞くこんな一日あつていい
ミサイルが飛んでも朝の卵焼き
水鉄砲どうやら本気らしい妻

『一般の部 入選』

駄目だった努力は時に嘘をつく
お袋の漬物石という文化
地下出口羽ばたけそうな青い空
カスハラは受け付けませんセルフレジ
残された画布いっぱいに絵の具塗る
本当は泣きたい時もある笑顔
木造の校舎が燃える茜雲
アバウトは生きてくための調味料
物価高値引きシールをはしごする
夕焼けに急かされて言うまたあした
封を切るドキドキ感の無いメール
おさがりの意味も知らずに古着買う

愛知県春日井市	神奈川県鎌倉市
滋賀県長浜市	京都府京都市
名古屋市名東区	長野県安曇野市
愛知県一宮市	
三重県伊勢市	
瀬戸市品野町	
瀬戸市八幡台	
佐賀県唐津市	
滋賀県大津市	
神奈川県川崎市	
滋賀県守山市	
兵庫県三田市	

飯田 歩未	井口 泰子
一刀両断	福村 まこと
井上 聖子	穂苅 真泉
鶏飼 正信	
奥田 悅生	
掛樋 嗣征	
河村 けい瑚	
古賀 由美子	
しなやかーる	
下村 修	
谷口 修平	
華杏	

逆転の一打の汗を知るバット

文明の利器ありがたしLINEあり

お見舞いを嘘で元気をつけてくる

オープンを本気で祝う胡蝶蘭

先ず知つてもらうことから支援の輪
電子化の波に戸惑うホツチキス

『小中学生の部
特選』

ひまわりが風に吹かれて笑つてゐ
下手でもね毎日吹けば音がでる
しんごうききみのこころにあかはない

『小中学生の部
入選』

汗にじむノートの文字にエールこめ
くやしいな泣いたあの日を忘れない
愛犬の尻尾を踏んで怒られる

夕方のスマホかざした夏のそら

階段よどこまで続く長い道

夏がきた虫がみんなを呼んでいる
推しをみて生きる楽しみ湧いてくる

友達とスイカをかこみ食べつくす

原
雄
一
郎

樋口光

未央柳

三浦
初枝

三編看

山日宣土於

高橋 千紗
松原 心菜

日記

青山
吉菜

也端
童直

清獻公集

井上
真奈央

大木
彩香理

大畠由弥子

加藤宗太朗

木村
日向

小林
橙香

お年玉漫画買つたらすぐ消えた
夕焼け小焼け歌う間に夜になる
この映画続きが早く観たいなあ
あーしんどいくらやつても終わらない
上向くと空を飛んでたおばあちゃん
時すすむ楽しい時間すぐ終わる
美しい夜空を泳ぐ流れ星
先輩の熱い背中にあこがれる
幼な子がカード払いのおままごと
不思議だが今日のお水はうますぎる
夕方に追いかけてくる黒い影
お母さんボールひろいをありがとう

幡山中学校一年
名古屋市立松原小学校四年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
尼崎市立日新中学校三年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
幡山中学校一年
柴田 白澤 高島 高橋 長江 永草 中村 栄樹 絆奈 羽奈
憲憲 水野 安山 山風 桧季 龍空 龍輝 歩輝 日鞠 雅久 ひなた 慶次郎

お天気が年毎に変になっていますね。幼い子どもさんや、通学、通勤の人たちの無事が気になつた夏でした。それでも、沢山の句に出会うことができて嬉しく思います。

『一般の部』

◎雨を聞くこんな一日あつてい

うつとうしく感じる雨ですが、静かに雨音を聞いて、過去や未来へ想いを馳せながら一日を過ごすことも、とても大事な人生の一ページですね。ポエムが漂っています。

◎ミサイルが飛んでも朝の卵焼き

異国には、ミサイルが飛び空の下で、恐怖を感じながら暮らしている人たちがいます。朝に、卵焼きを食べる光景は平和な証拠。取り敢えず、幸せな国に生まれたことを感謝。

◎水鉄砲どうやら本気らしい妻

夫婦間の機微が「水鉄砲」で、ユーモラスに詠まっています。

『中小学生の部』

◎ひまわりが風に吹かれて笑つてる

太陽の下で暑くて大変だつたひまわりが、吹いてきた風にほつとしています。「ひまわりが笑う」の擬人化がユニークです。

◎下手でもね毎日吹けば音が出る

誰でも最初から上手には吹けません。毎日頑張って、音が出た時は、とても嬉しいはずです。続けることが大事だと気づきましたね。

◎しんごうききみのこころにあかはない

猪突猛進(ちよとつもうしん)。そんなきみには「止まれ」の赤は見えません。とても前向きで元気な人かもしれません、周囲は少しハラハラします。